

# えひめ愛顔の子ども芸術祭 2018

2018年10月20日(土)～2019年3月31日(日)

光のアート 2018年11月3日(祝)～12月22日(土)の毎週土曜日と  
11月23日(祝)・12月23日(祝)17:30～21:00(閉門21:30)

## 作品配置図







2018 えひめ愛顔の子ども芸術祭メインオブジェ



タイトル:「虹色の塔」

キャプション.....  
 「えひめ愛顔の子ども芸術祭」(2018年)のメインオブジェを、高校生たち総勢60名以上と共に、制作しました。  
 今回のテーマは「森のいのち」。園内にある台風で倒れた木や、災害で出た瓦礫や流木などの、もともと「いのち」であつた廃材や流木に染色をして、虹色の花を咲かせました。また、災害の頻発する日本各地の再生を祈念して、愛媛の子どもから大人までの方々に、パネルに願い事を描いていただき、それぞれの「想い」を作品に込めました。大輪の花が咲いたようなこの「希望の塔」は、八百万の神々が降臨する「まほろば」として、四方八方に直線の虹色のアンテナを張り巡らせています。すべての子どもの未来に花が咲きますように...

2018 えひめ愛顔の子ども芸術祭

講師：華道家 前野博紀 作

サブオブジェ



「森のキョロちゃん」

キャプション.....  
 瓦礫や流木して廃材を身にまとい、立ち上がった森の腕白小僧。その名も「キョロちゃん」。すべての生命が生きてするために必要な「水」と「光」を感じ取る大きな眼をキョロキョロさせて、腕白なキョロちゃんは、一緒に遊んでくれる友だちを、待っています。

3回目の子ども芸術祭。

今回のテーマは『森の命(いのち)』森に住むいきもの(無視・昆虫・動物・花・木・妖精など)を自由にイメージする作品を募集しました。愛媛県内のほか、鹿児島・長崎・大分・姫路・高松の高校、愛知の児童館などから様々な作品出展があります。

園内の花の丘から創作工房までの散策路を自然とともに芸術作品を楽しみながら歩くことができます。子どもたちの力作をぜひご覧ください。

